

このページは強度行動障害支援者養成研修に関する情報を逐次掲載いたします

強度行動障害支援者養成研修のページ

強度行動障害とは

強度行動障害とは、自分の体を叩く、食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど「本人の健康を著しく損ねる行動」、他人を叩く、物を壊す、大泣き奇声は何時間も続くなど「周囲のくらしに著しい影響を及ぼす行動」が高い頻度で継続的に発生し、特別に配慮された支援が必要な状態のことを言います。そして、強度行動障害支援者養成研修とは、障害者総合支援法における都道府県地域生活支援事業です。平成 25 年よりスタートした本研修においては、全国の障害福祉施設や事業所等の関係者が、強度行動障害のある人に対して、協力しながら「共通の言語」で支援を行えることを目指しています。

このページは、強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)ならびに都道府県で開催される強度行動障害支援者養成研修に関する情報交換を目的に作成しました。「独立行政法人重度知的障害者総合施設のぞみの園」事業企画局研究部が運営しています。

[お問合せ\(情報提供\)はこちら](#)

インフォメーション

[RSS](#)

[「障害特性ヒントシート」平成 28 年度強行指導者研修版](#)

2016 年 11 月 24 日 [研修内容](#)

7 月 5 日～8 日に開催した強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)で使用した、「障害特性ヒントシート」を掲載いた …

[この記事を読む](#)

[平成 28 年度「強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修」のご案内](#)

2016 年 9 月 12 日 [研修内容](#)

平成 25 年度よりスタートした強度行動障害支援者養成研修も、平成 28 年度には、全国で基礎研修受講予定者が 10,0 …